

# 令和5年度 介護の支え手「介護サポーター」採用事業に関するアンケート【法人用】

## 【本調査の対象法人】

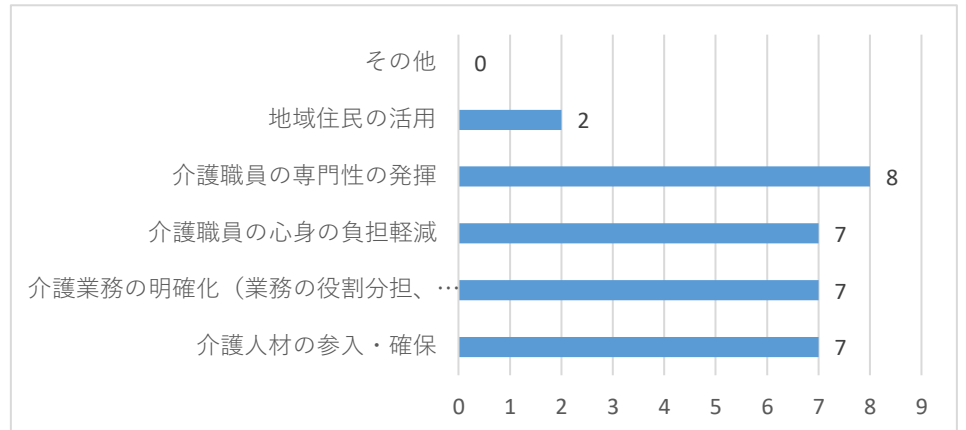
11法人（介護サポーターを採用した法人）

## 【回答法人数等】

10法人（回答率90.9%）

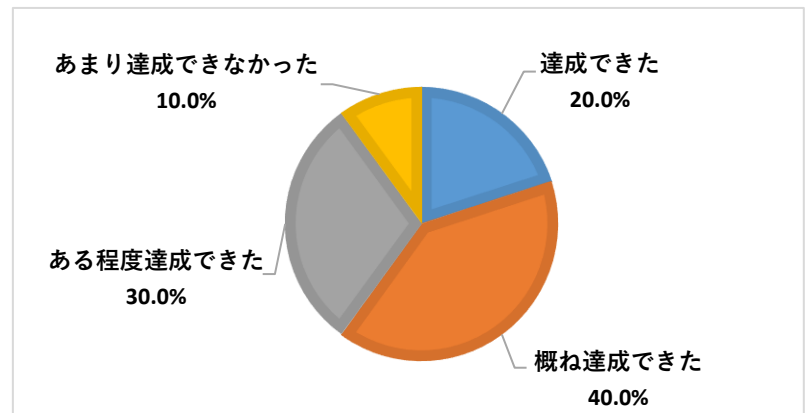
### 問1 本事業に参加した目的は？ ※複数回答可

	法人数
介護人材の参入・確保	7
介護業務の明確化（業務の役割分担、効率化）	7
介護職員の心身の負担軽減	7
介護職員の専門性の発揮	8
地域住民の活用	2
その他	0
合計	31



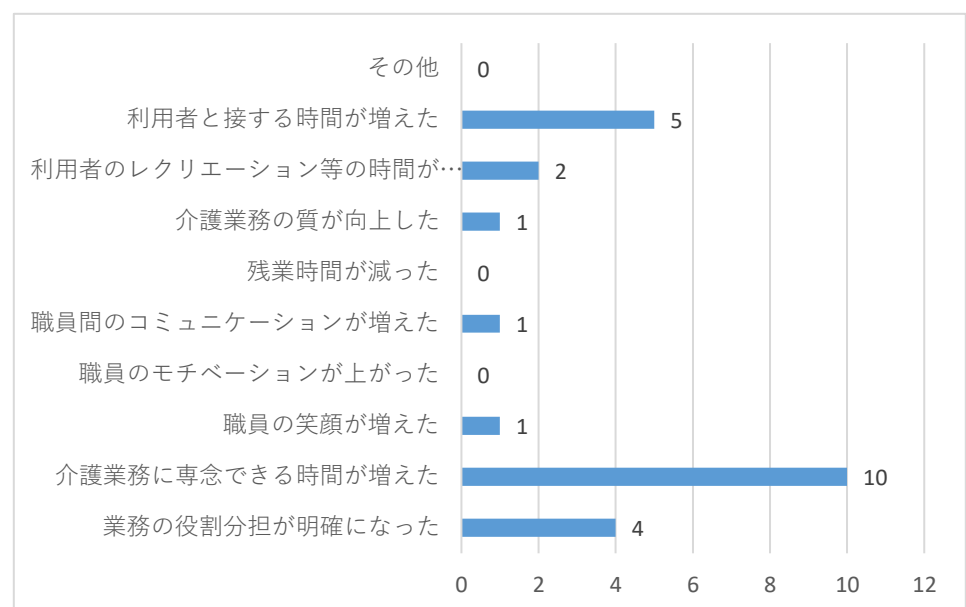
### 問2 本事業に参加した目的（問1で回答した項目）の達成度は？

	法人数	割合
達成できた	2	20.0%
概ね達成できた	4	40.0%
ある程度達成できた	3	30.0%
あまり達成できなかった	1	10.0%
ほとんど達成できなかった	0	0.0%
合計	10	100.0%



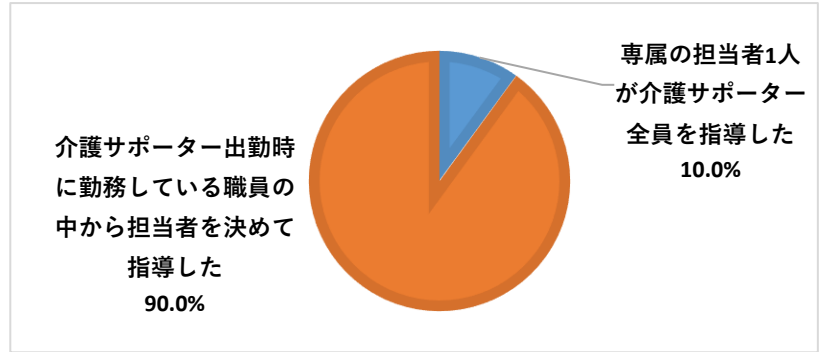
### 問3 本事業への参加を通して変化が見られたことは？ ※複数回答可

	法人数
業務の役割分担が明確になった	4
介護業務に専念できる時間が増えた	10
職員の笑顔が増えた	1
職員のモチベーションが上がった	0
職員間のコミュニケーションが増えた	1
残業時間が減った	0
介護業務の質が向上した	1
利用者のレクリエーション等の時間が増えた	2
利用者との接する時間が増えた	5
その他	0
合計	24



**問4 本事業に参加するにあたり、介護サポーターの業務指導担当者の配置は？**

	法人数	割合
専属の担当者1人が介護サポーター全員を指導した	1	10.0%
介護サポーター出勤時に勤務している職員の中から担当者を決めて指導した	9	90.0%
担当者を決めず、その時々に応じて指導した	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	10	100.0%

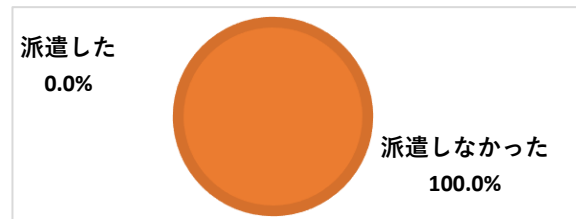


**問5-1 介護サポーターの外部研修（Off-JT）受講の必要性に関する考え方は？**

- ・業務内容に応じて必要だと思う。介護業務であれば受講はした方が良いかもしれないが、環境整備の仕事であれば、必要ないと思う。介護業務であっても、令和6年4月～は認知症介護基礎研修の受講が必須となるので、そちらを受講した方が有効。
- ・介護サポーター採用事業の期間は3ヶ月と短いため必要ないと感じています。3ヶ月以降も雇用継続となった場合は必要に応じて外部研修等の機会は確保すべきだと考えています。
- ・法人内にて研修の実施は行っているが、サポーターから本採用を望んでいる方には必要な取り組みだと考えます。
- ・介護に関する知識が全く無い方については、ある程度の知識があったほうが、仕事を理解するうえで、納得のいく仕事ができるのではと考えます。
- ・経験の有無やスキルなど個人差が大きい為、三ヶ月という雇用期間で受講する必要はないと思っています。その後の継続雇用では個人にあった研修受講が必要だと考えています。
- ・必要性を感じられない。
- ・今回の介護サポーター受入れについては体験のみであったが、OJTは必要と感じます。

**問5-2 今回採用した介護サポーターを外部研修（Off-JT）に派遣したか？**

	法人数	割合
派遣した	0	0.0%
派遣しなかった	10	100.0%
合計	10	100.0%

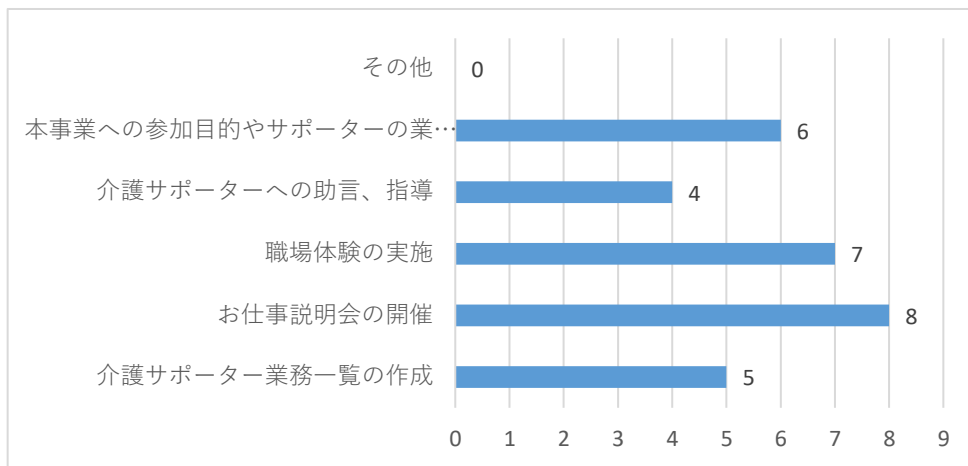


**【派遣しなかった理由】**

- ・外部研修は予定していなかったため。
- ・間接業務担当であり、希望もなかったため。
- ・期間が短く研修の受講には至らなかった。
- ・日程が合わなかった為。
- ・経験の有無やスキルなど個人差が大きい為、三ヶ月という雇用期間で受講する必要はないと思っています。その後の継続雇用では個人にあった研修受講が必要だと考えています。

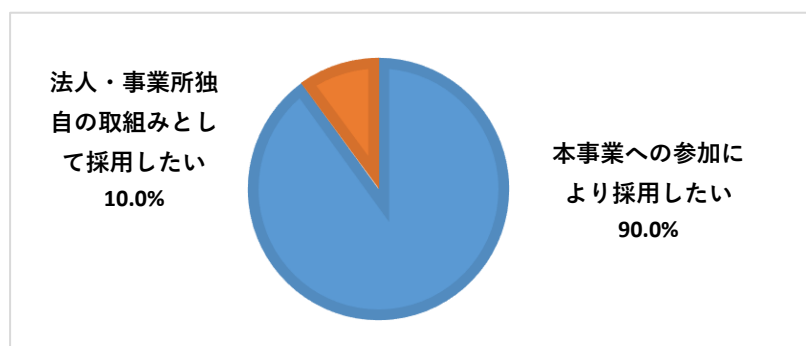
問6 介護サポーターの採用・定着を効果的にするために重要なことは？ ※複数回答可

	法人数
介護サポーター業務一覧の作成	5
お仕事説明会の開催	8
職場体験の実施	7
介護サポーターへの助言、指導	4
本事業への参加目的やサポーターの業務内容等に関する職員間での共有	6
その他	0
合計	30



問7 今後も介護サポーターを採用したいか？

	法人数	割合
本事業への参加により採用したい	9	90.0%
法人・事業所独自の取組みとして採用したい	1	10.0%
採用の意向はない	0	0.0%
合計	10	100.0%



問8 その他、御意見等

・介護サポーターの説明会には70代の方も多く参加されており、まだまだ元気なので働きたいと思っている方が多くいる事を改めて体感しております。又資格があっても活かさきれていない方もいらっしゃいましたので今後も取り組んでいきたいと考えております。

・1人の方が継続雇用となりました。本人もやりがいを持っていて、仕事をしている様子がうかがえました。他の職員も仕事をサポートしてもらう事によって、専門的介護業務に専念することができていると感じています。次回も機会がありましたら企画を利用したいと考えています。

・受入れ施設からの意見は特にありませんでした。

介護分野の人材不足が深刻さを増す中で、現場では介護の専門性が高いスタッフの減少傾向も大きな問題となっているように感じます。

介護経験の少ないひとのチャレンジを受け入れやすくする取り組みとして、介護の専門性が無くても取り組めるような仕事の分担を見直す機会としても、サポーター事業を申込んでよかったと考えております。